

「令和元年度 兵庫県内の市町財政の状況」



(1) 経常収支比率の状況

【資料 1】 令和元年度兵庫県内各市町の経常収支比率（単年度）の状況<地図>	1
【資料 2】 経常収支比率（単年度）の対前年度比較	2

(2) 実質公債費比率の状況

【資料 3】 令和元年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図>	3
【資料 4】 実質公債費比率の対前年度比較	4

(3) 将来負担比率の状況

【資料 5】 令和元年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図>	5
【資料 6】 将来負担比率の対前年度比較	6

(4) 税徴収率の状況

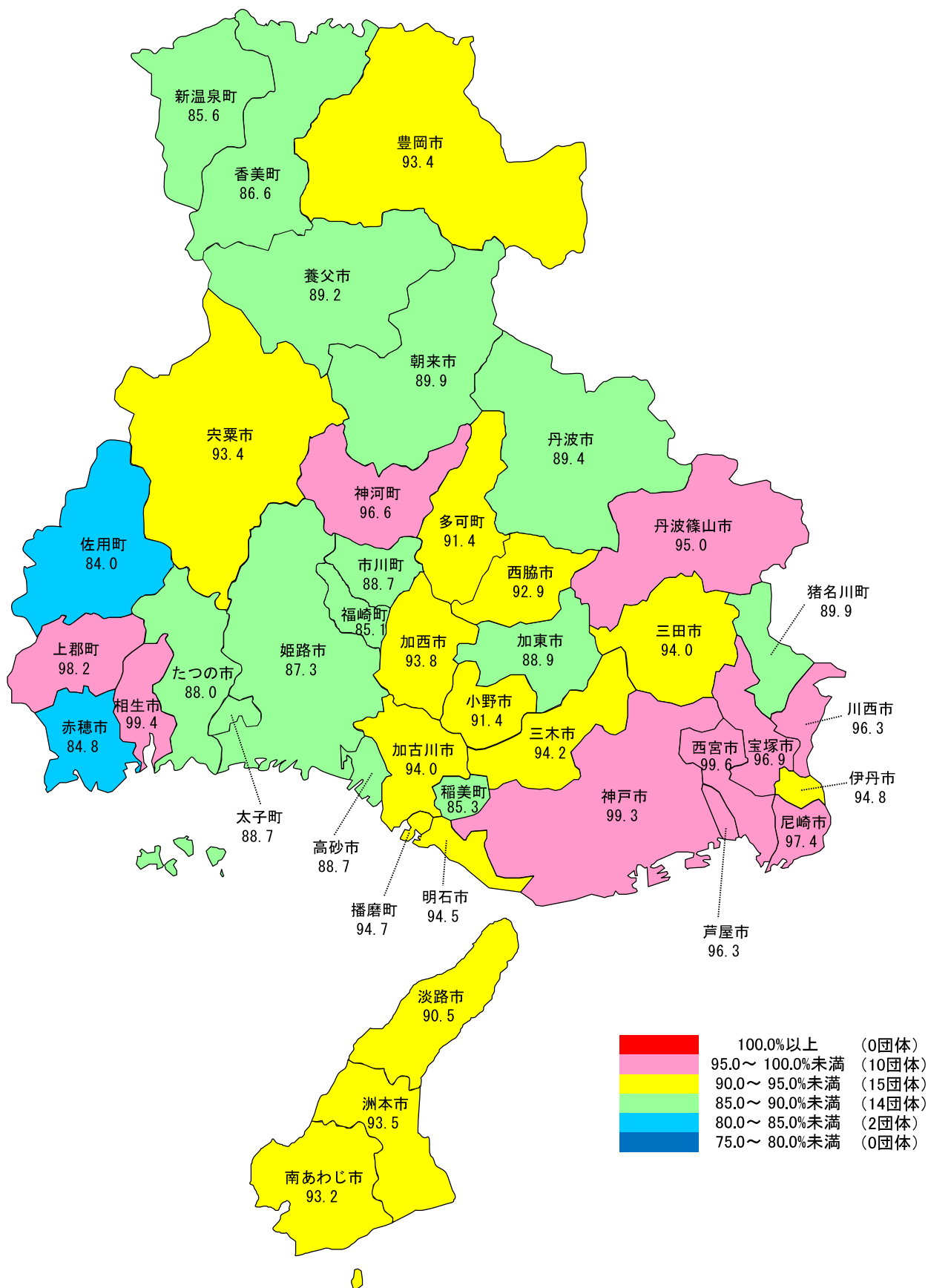
【資料 7】 令和元年度兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況<地図>	7
【資料 8】 徴収率（個人住民税）の対前年度比較	8
【資料 9】 令和元年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況<地図>	9
【資料 10】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較	10
【資料 11】 令和元年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況<地図>	11
【資料 12】 特別徴収実施率の対前年度比較	12

※ 参考

【参考資料①】 平成 31 年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図>	13
【参考資料②】 ラスパイレス指数の対前年度比較	14

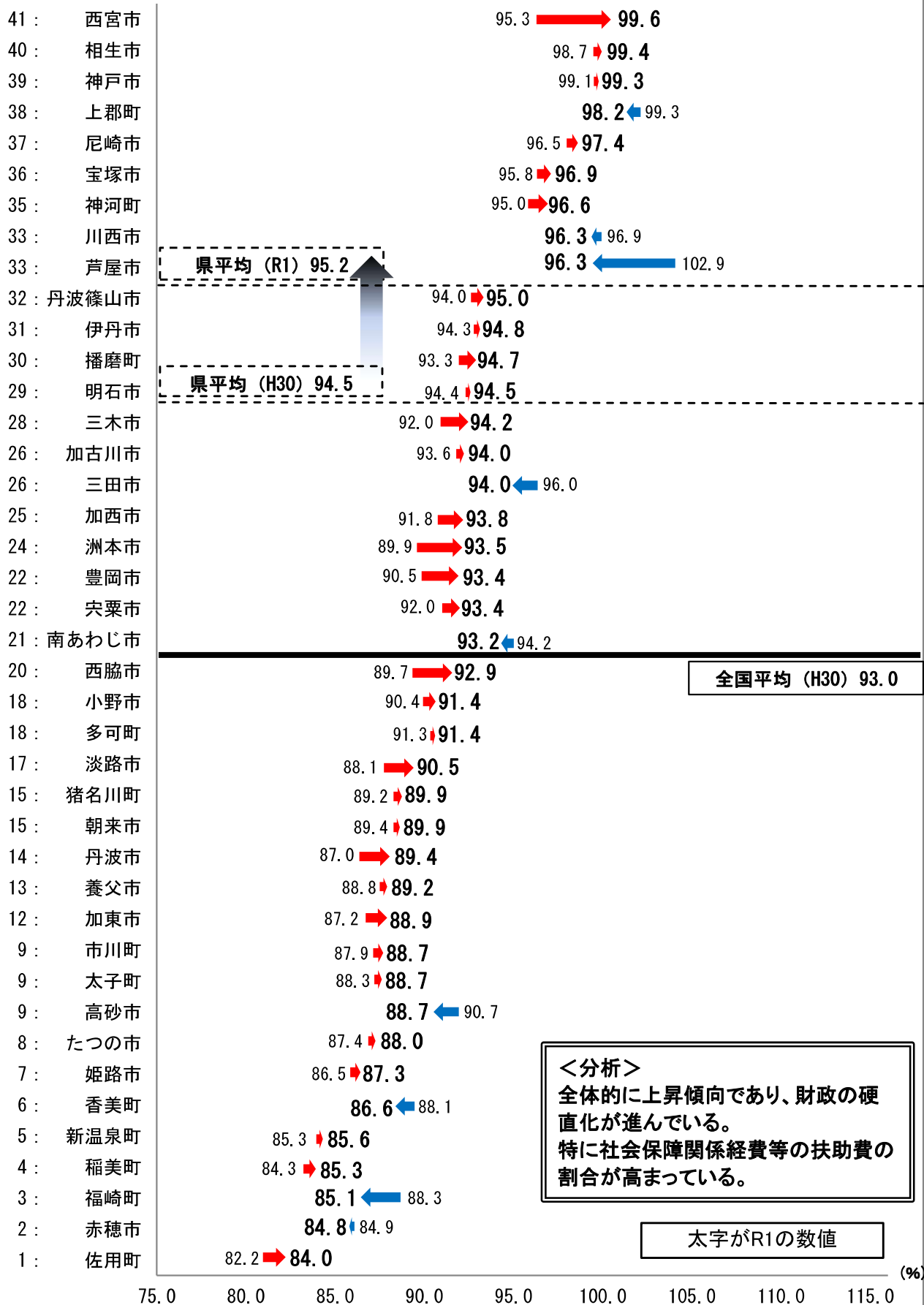
令和元年度兵庫県内各市町の経常収支比率(単年度)の状況

○令和元年度の経常収支比率の県内市町平均は95.2%(H30全国平均は93.0%)。
 ○経常収支比率が最も高い団体は、市では西宮市(99.6%)、町では上郡町(98.2%)。
 ○経常収支比率が最も低い団体は、市では赤穂市(84.8%)、町では佐用町(84.0%)。



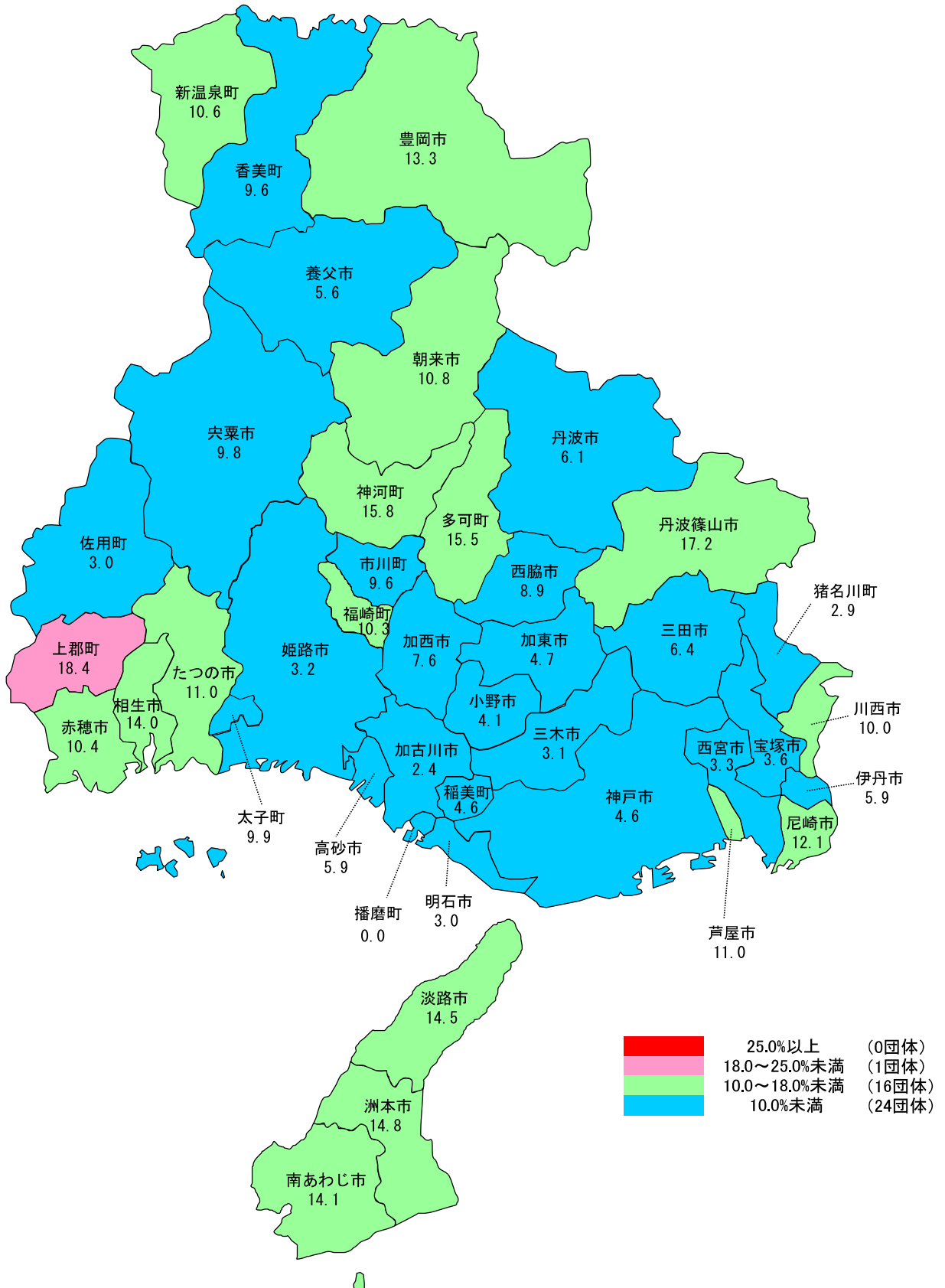
経常収支比率の対前年度比較

■前年度から比率が増加したのは32団体、比率が減少したのは9団体。
 ■最も減少したのは、市では芦屋市(▲6.6)、町では福崎町(▲3.2)。
 ■最も増加したのは、市では西宮市(+4.3)、町では神河町(+1.6)。



令和元年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

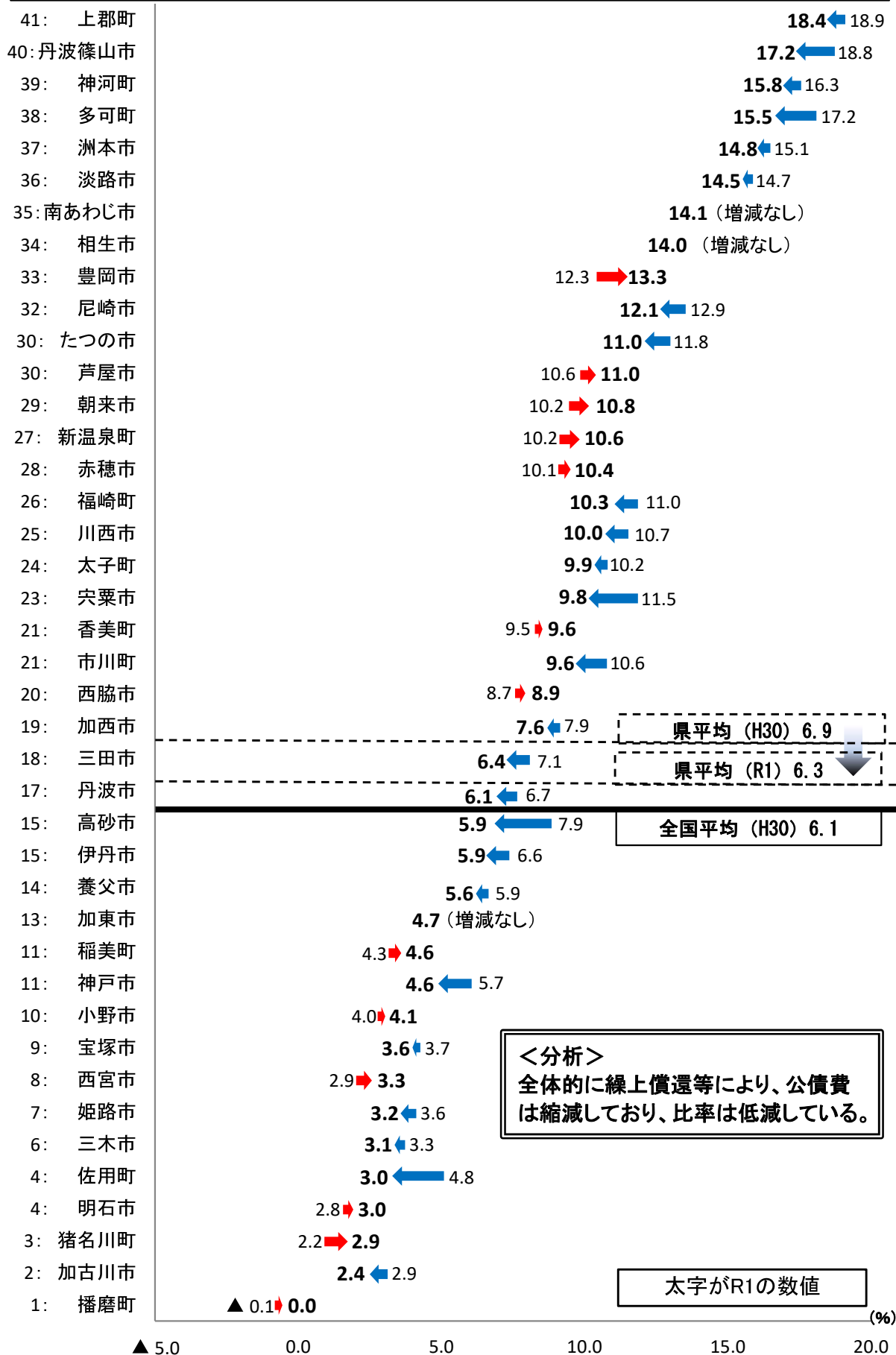
- 令和元年度の実質公債費比率の県内市町平均は6.3%(H30全国平均は6.1%)。
- 実質公債費比率が25%以上※1の団体はないが、18%以上※2の団体は、上郡町(18.4%)の1団体。
- 実質公債費比率が18%未満※3の団体は、40市町となった(丹波篠山市はR1から18%を下回った)。



※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。
 ※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容及び実施状況に応じ、起債が許可される。
 ※3 実質公債費比率が18%未満(実質赤字額・連結実質赤字比率が0、将来負担比率350%以下等)の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

実質公債費比率の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは25団体、比率が増加したのは13団体、3団体が増減なし。
 ■最も減少したのは、市では高砂市(▲2.0)、町では佐用町(▲1.8)。
 ■最も増加したのは、市では豊岡市(+1.0)、町では猪名川町(+0.7)。

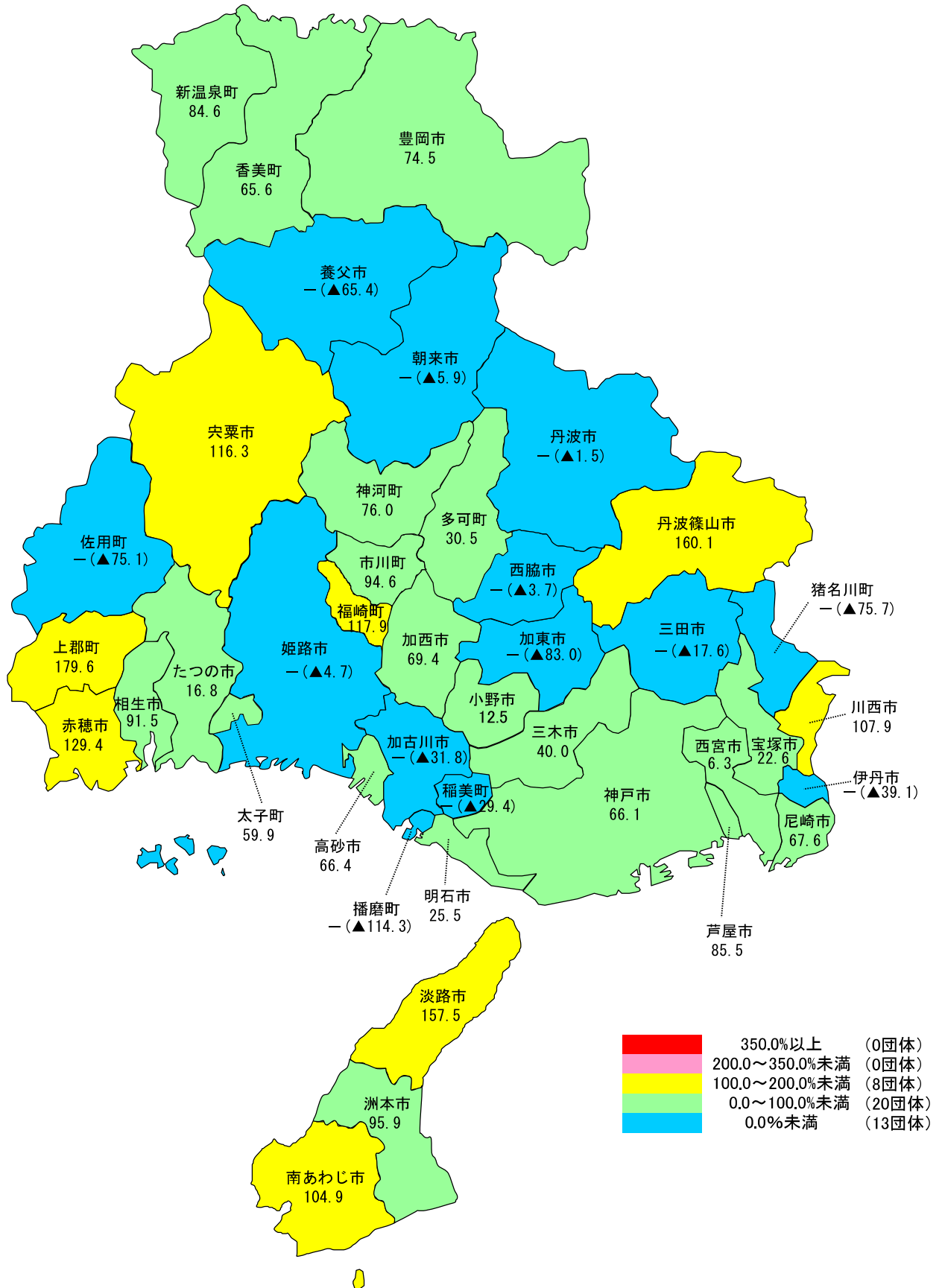


(3) 将来負担比率の状況

令和元年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

【資料5】

○令和元年度将来負担比率の県内市町平均は41.5%(H30全国平均は28.9%)。
○将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)^{※1}の団体はない。0.0%未満の団体は加東市、播磨町など13市町。

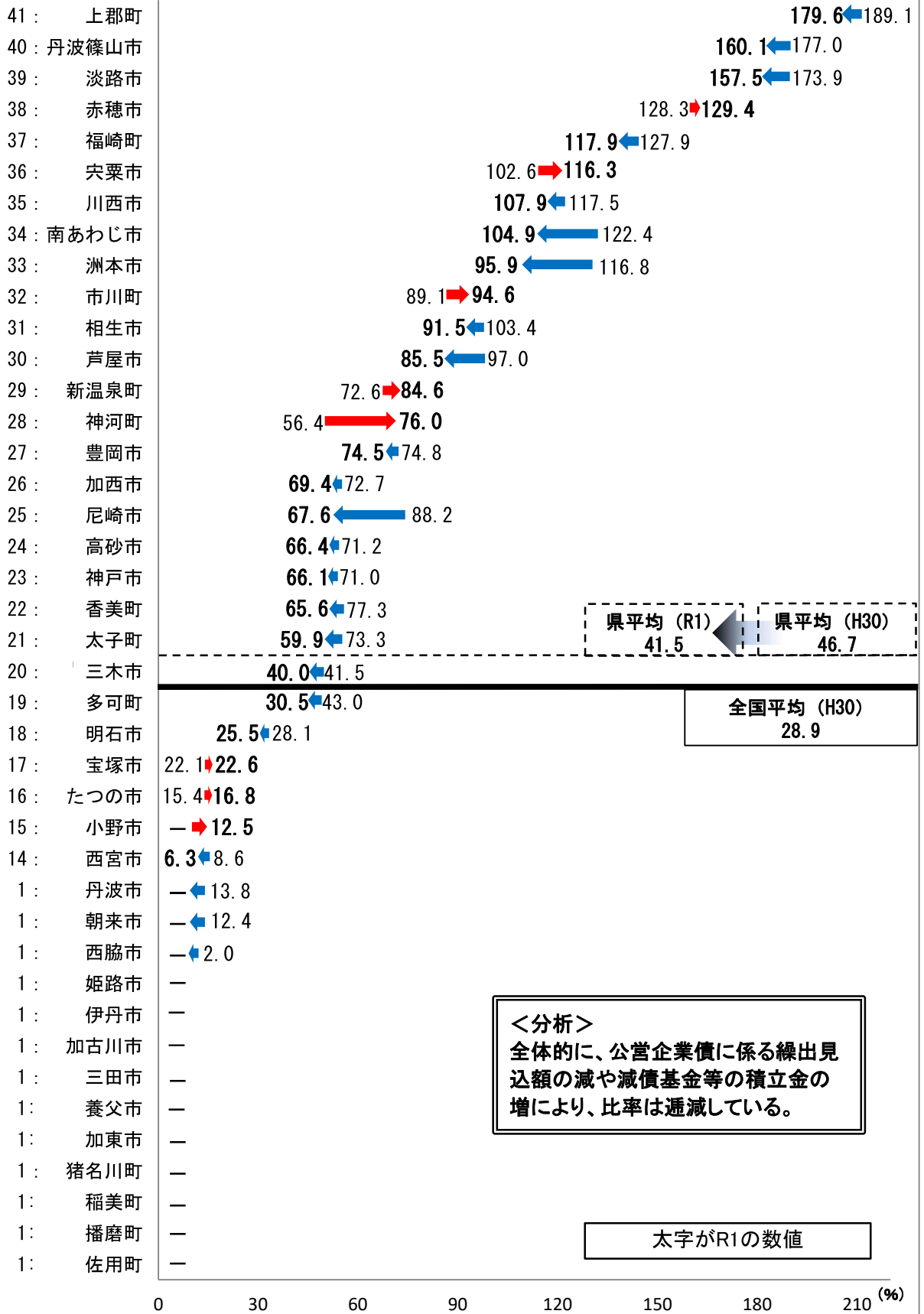


※1 将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。
※2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「-」で表示。(括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)

将来負担比率の対前年度比較

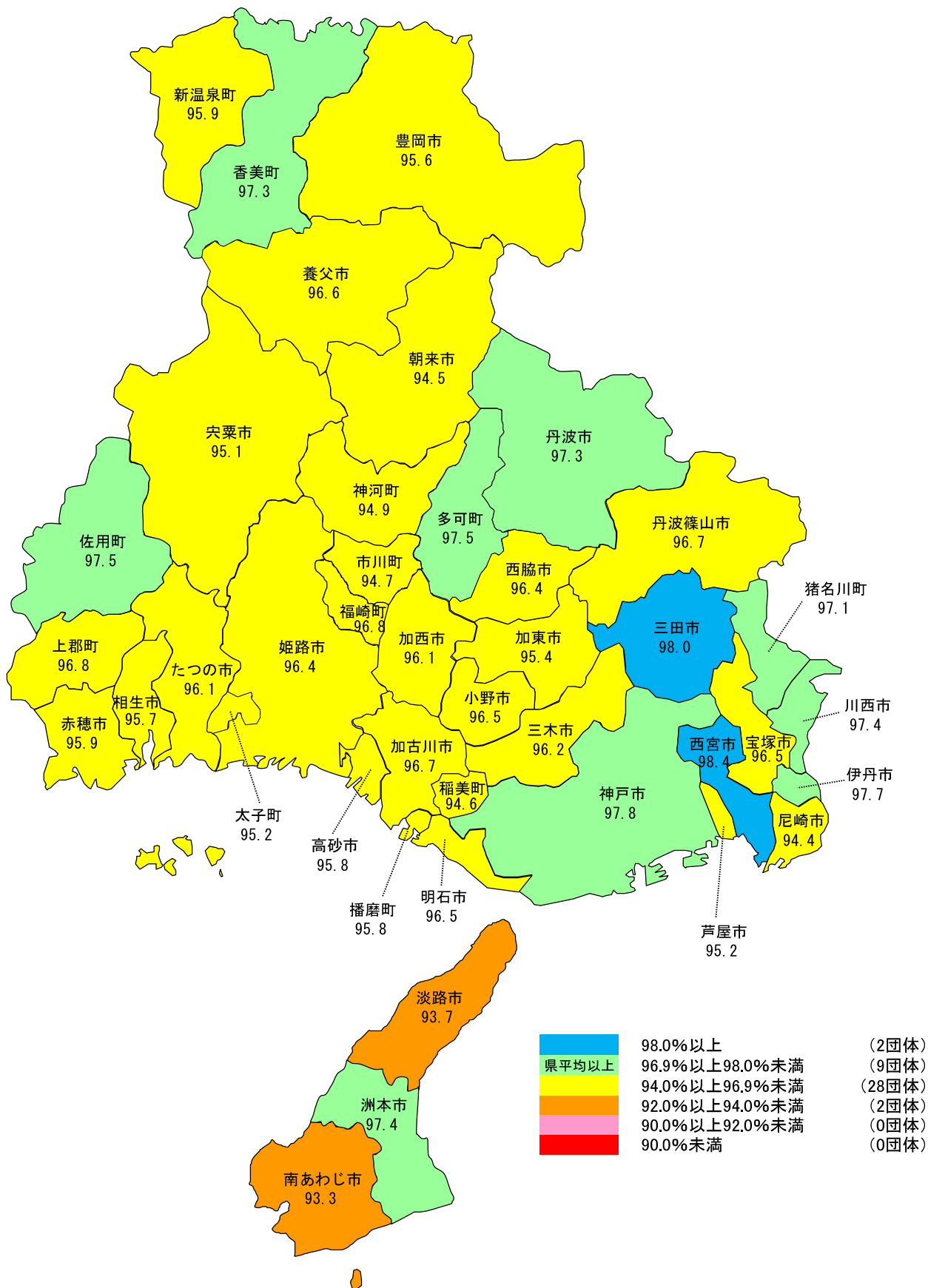
【資料6】

- 前年度から比率が減少したのは23団体、比率が増加したのは8団体。
- 最も減少したのは、市では洲本市(▲20.9)、町では太子町(▲13.4)。
- 最も増加したのは、市では小野市(+45.4)、町では神河町(+19.6)。



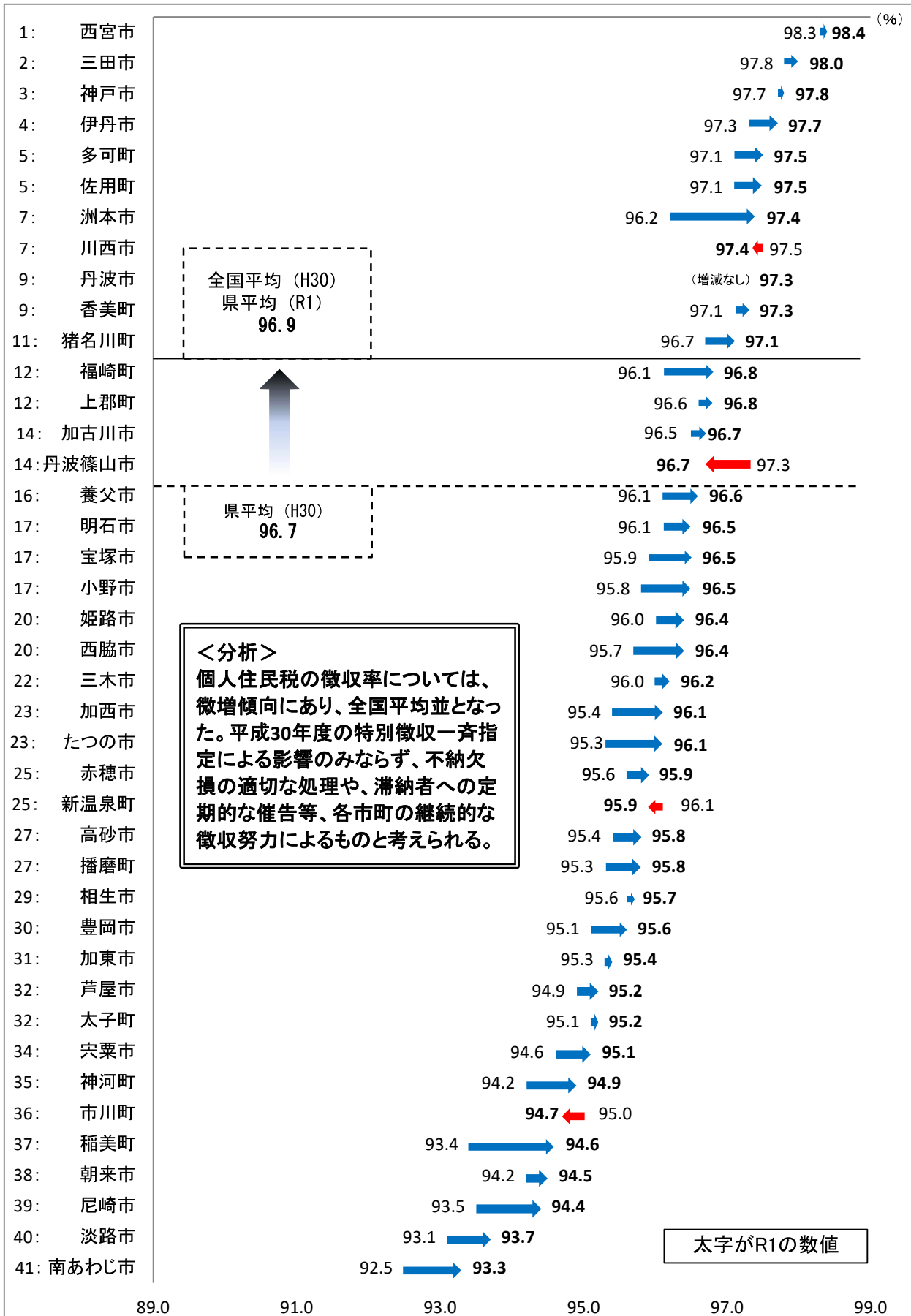
令和元年度兵庫県内各市町の徴収率(個人住民税)の状況

- 徴収率の県平均は96.9%(H30県平均96.7%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(98.4%)、町では多可町、佐用町(97.5%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(93.3%)、町では稲美町(94.6%)



徴収率(個人住民税)の対前年度比較

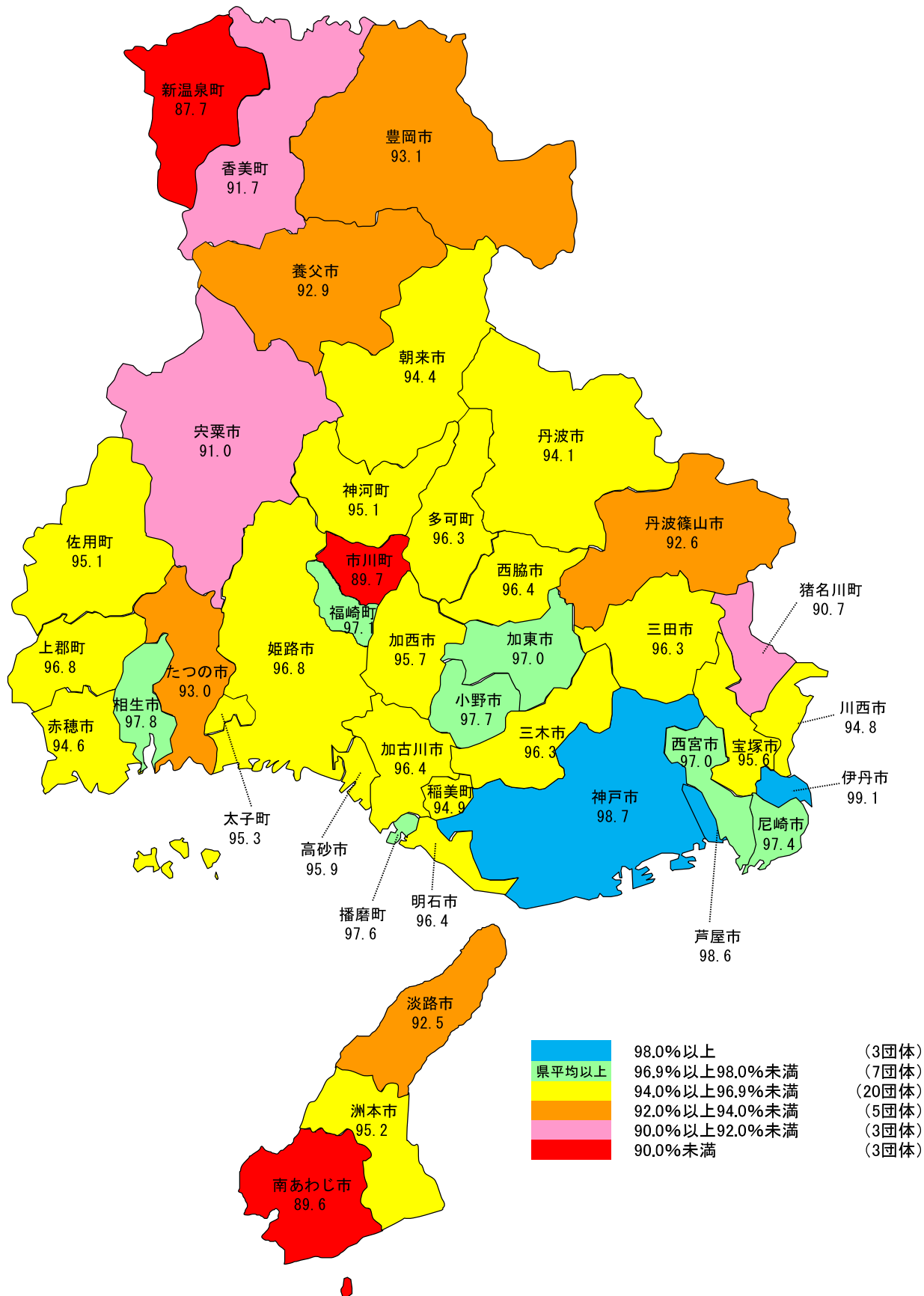
■前年度から徴収率が減少したのは4団体、増加したのは36団体。
 ■最も増加したのは洲本市、稲美町(1.2%) 最も減少したのは丹波篠山市(▲0.6%)



<分析>
 個人住民税の徴収率については、微増傾向にあり、全国平均並となった。平成30年度の特別徴収一斉指定による影響のみならず、不納欠損の適切な処理や、滞納者への定期的な催告等、各市町の継続的な徴収努力によるものと考えられる。

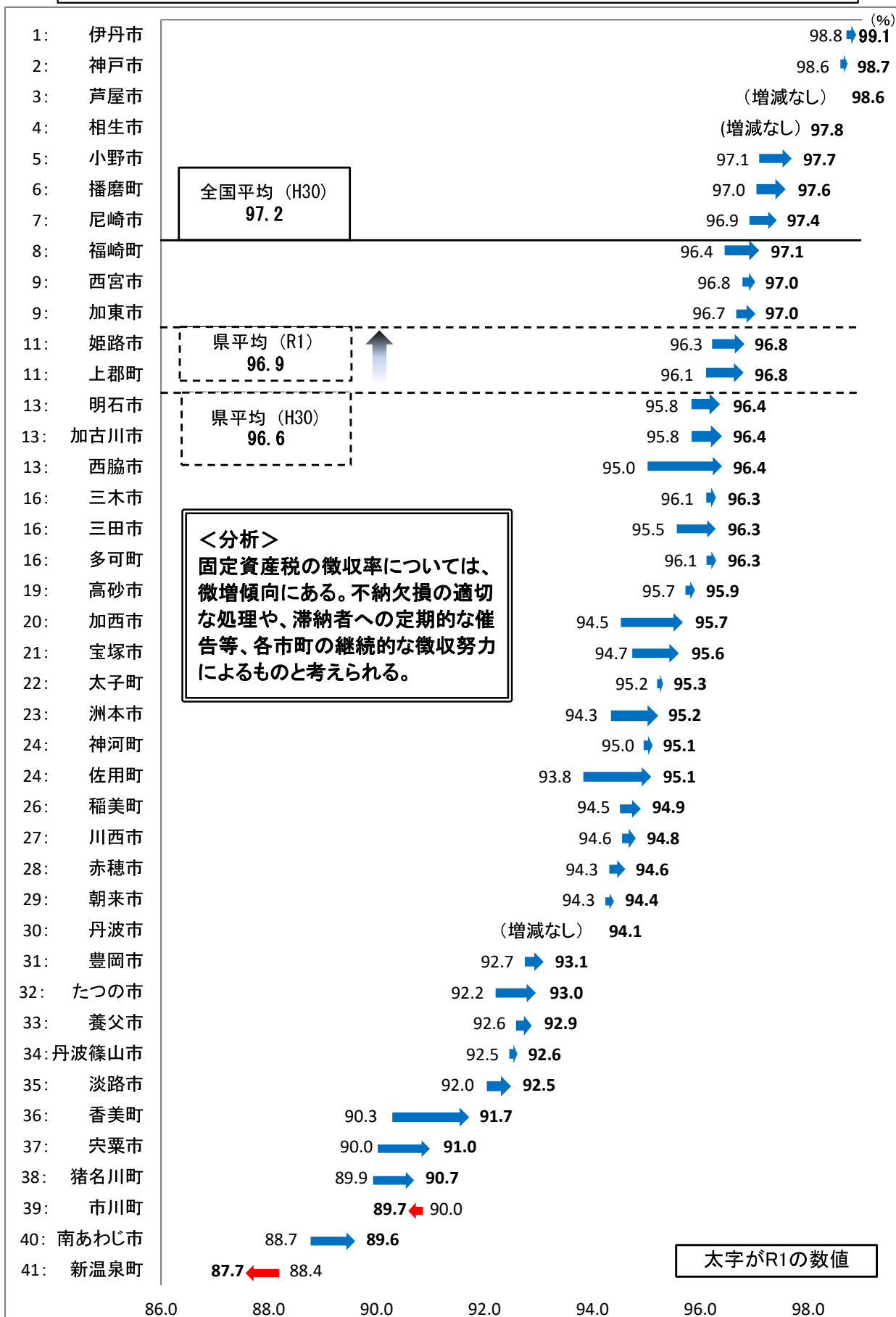
令和元年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

- 徴収率の県平均は96.9%(H30県平均96.6%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市(99.1%)、町では播磨町(97.6%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(89.6%)、町では新温泉町(87.7%)



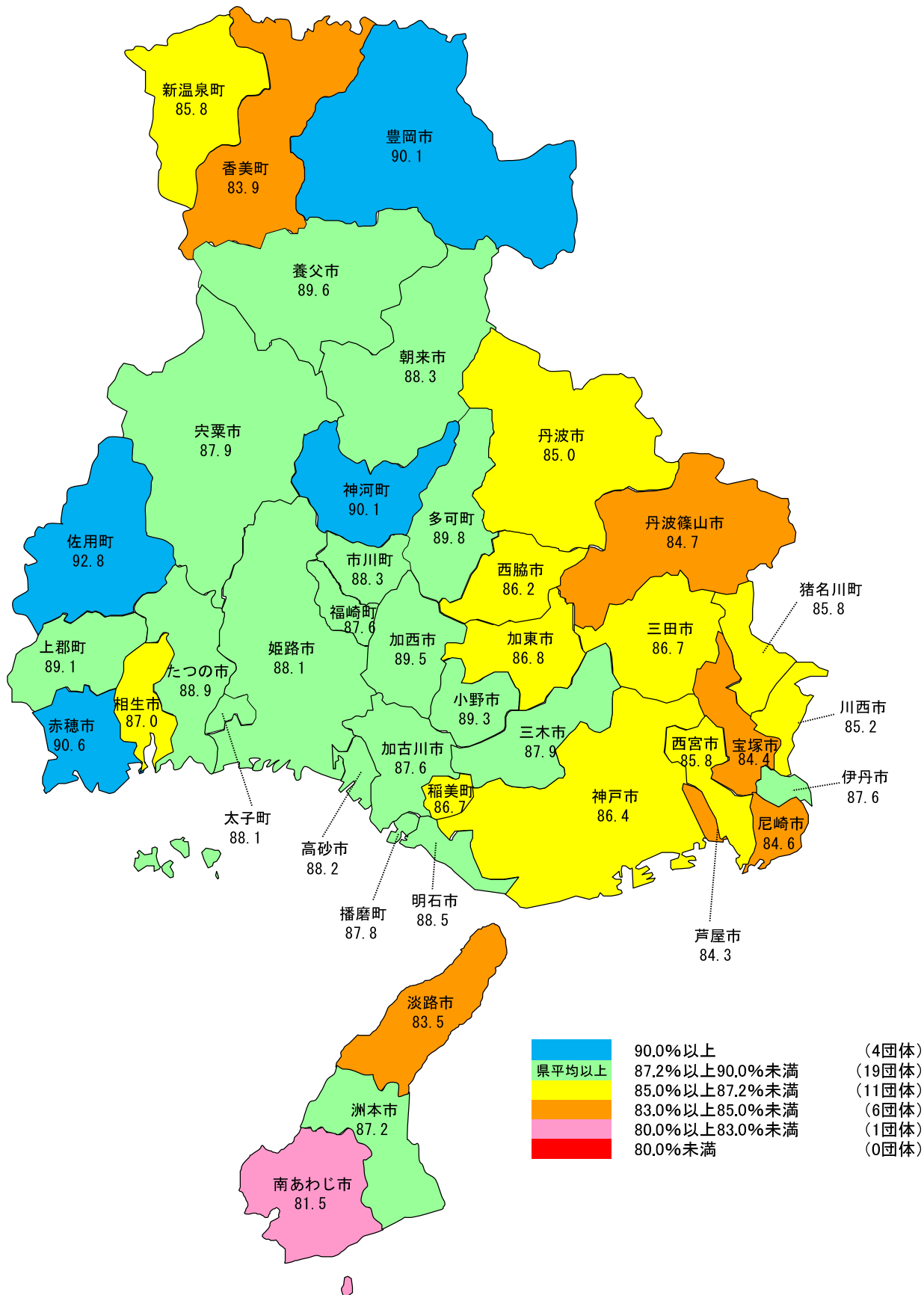
徴収率(固定資産税)の対前年度比較

■前年度から徴収率が減少したのは2団体、増加したのは36団体。
 ■最も増加したのは西脇市(1.4%) 最も減少したのは新温泉町(▲0.7%)



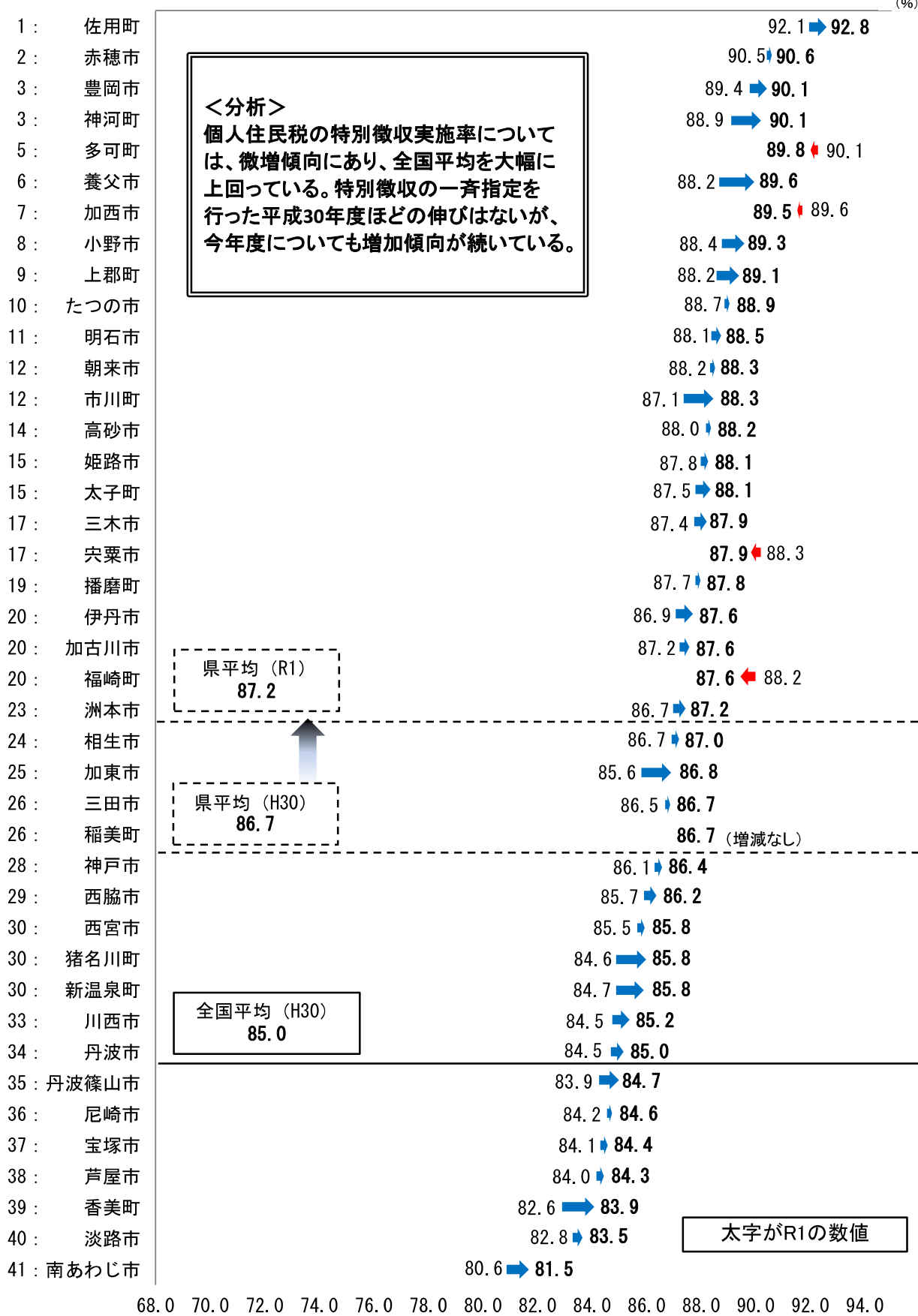
令和元年度兵庫県内各市町の特別徴収実施率の状況

- 特別徴収実施率の県平均は87.2%
- 特別徴収実施率の最も高い団体は、市では赤穂市(90.6%)、町では佐用町(92.8%)
- 特別徴収実施率の最も低い団体は市では南あわじ市(81.5%)、町では香美町(83.9%)



特別徴収実施率の対前年度比較

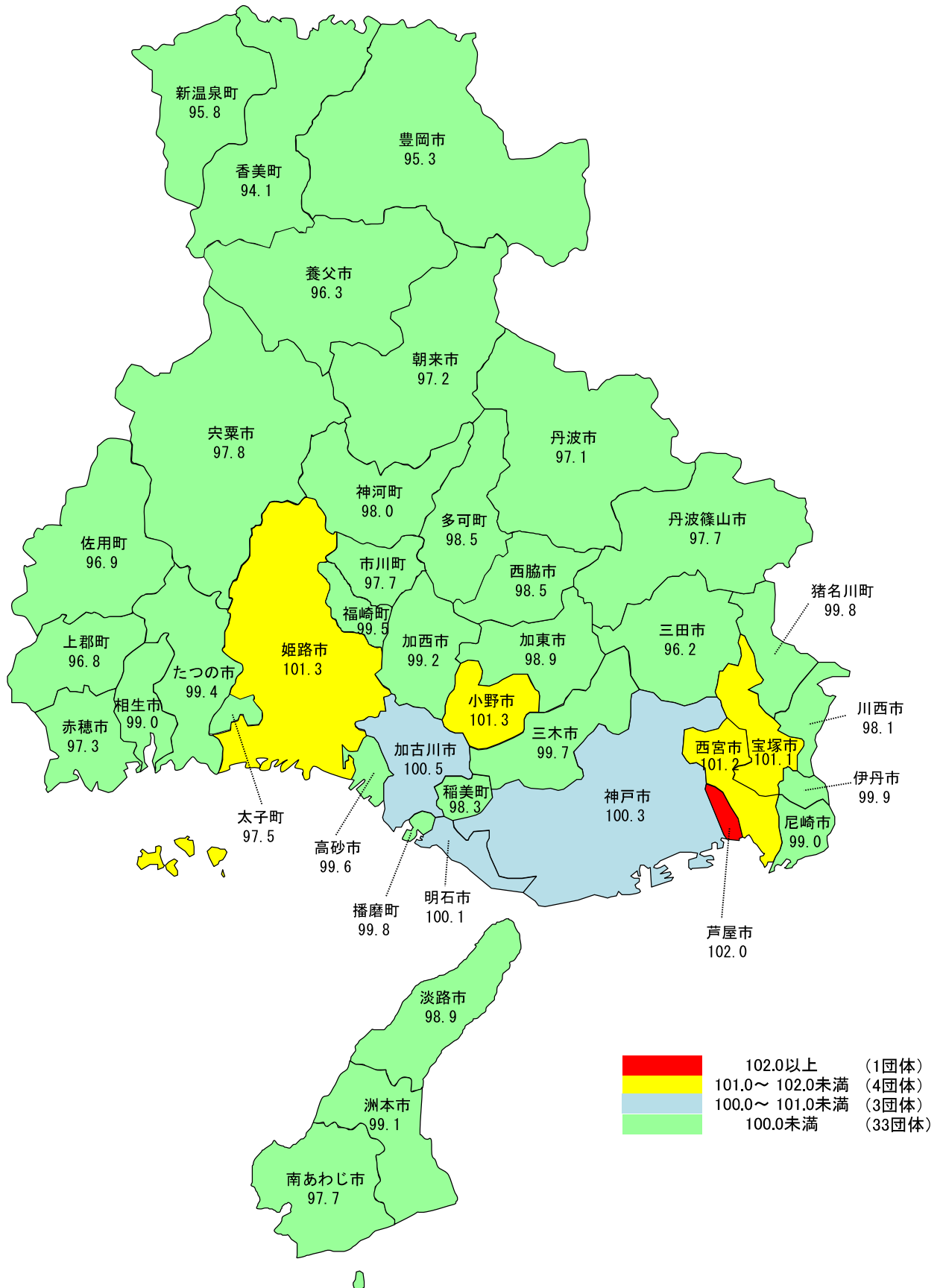
■前年度からの比率は36団体で増加した。
 ■最も増加したのは養父市(1.4%)。



※特別徴収実施率=給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数/給与所得者の納税義務者数

平成31年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況(H31.4.1)

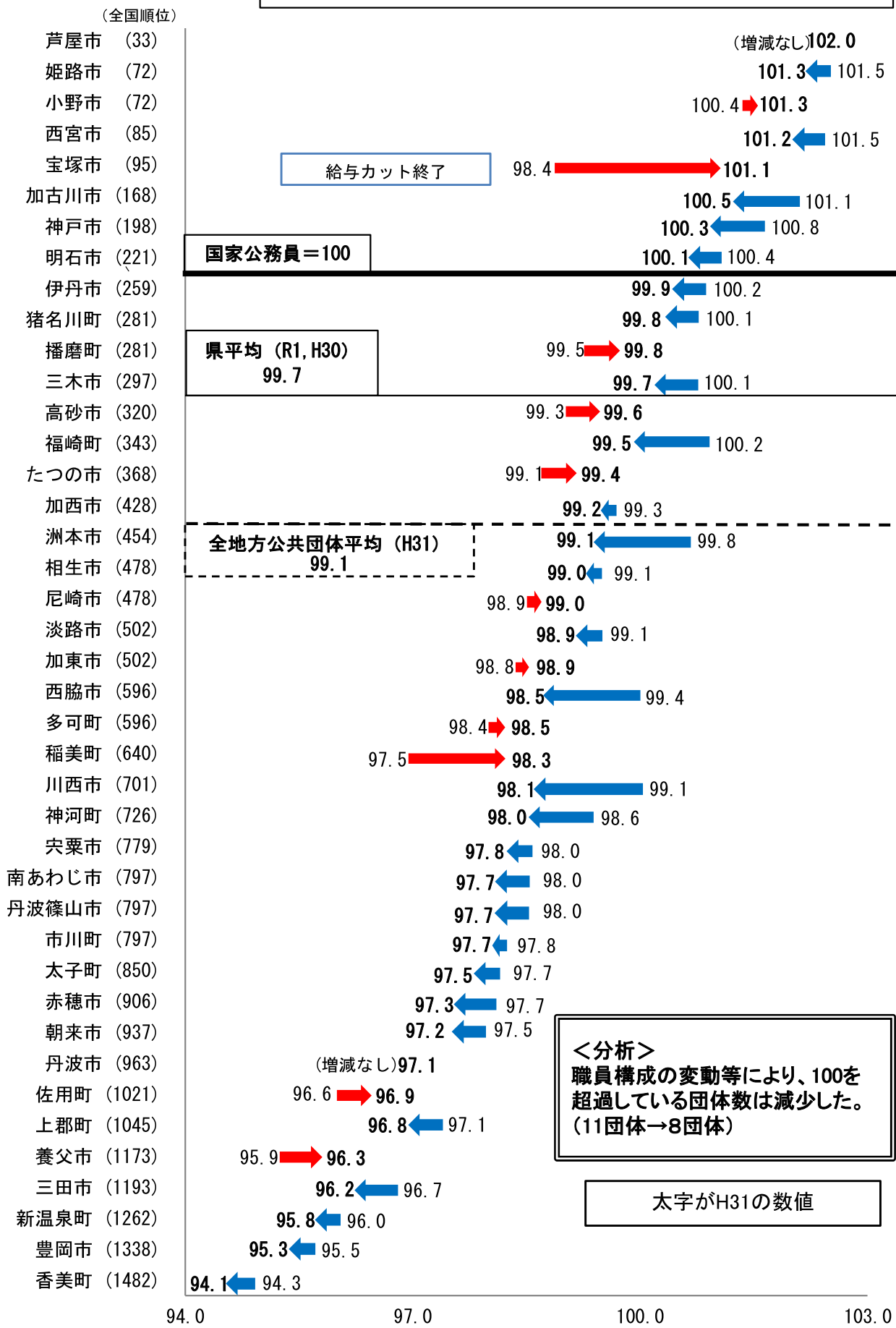
○ラスパイレス指数※が100.0以上の団体は、芦屋市(102.0)、姫路市(101.3)など8市町。
 ○ラスパイレス指数が100.0未満の団体は香美町(94.1)など33市町。



※ ラスパイレス指数: 国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

平成31年ラスパイルス指数の対前年比較

■前年から指数が減少したのは28団体、増加したのは11団体
 ■100を上回る団体は、3団体減少し、8団体
 ■最も増加したのは宝塚市(+2.7)



<分析>
 職員構成の変動等により、100を超過している団体数は減少した。(11団体→8団体)

太字がH31の数値

令和2年9月
兵庫県企画県民部企画財政局 市町振興課作成

